

2025年12月8日(月)
デジタルグリッド株式会社

令和7年度 気候変動アクション環境大臣表彰を受賞 -企業連携で加速する再エネ導入：先進的バーチャルPPAの挑戦-

デジタルグリッド株式会社(以下「当社」)は、サッポロ不動産開発株式会社*¹以下「サッポロ不動産開発」)、リコーリース株式会社*²(以下「リコーリース」)、エネア・リニューアブルエナジー・マネジメント株式会社*³(以下「エネア・リニューアブルエナジー・マネジメント」)とともに、「令和7年度 気候変動アクション環境大臣表彰(先進導入・積極実践部門)」を共同受賞しました。

(https://www.env.go.jp/earth/ondanka/min_action_award/index.html)



「気候変動アクション環境大臣表彰」とは

環境省が気候変動対策推進の一環として、顕著な功績のあった個人・団体をたたえるために毎年開催している表彰制度で、当社としては初めての受賞となりました。

令和7年度 気候変動アクション 環境大臣表彰



*¹ サッポロ不動産開発株式会社…本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：宮澤 高就

*² リコーリース株式会社…本社：東京都港区、代表取締役 中村 徳晴

*³ エネア・リニューアブルエナジー・マネジメント株式会社…代表取締役 金明九



今回は、バーチャル PPA（環境価値の売買契約）に複数の企業が連携して取り組んだことが評価され受賞につながりました。12月5日開催の表彰式では、プロジェクトを担当したデジタルグリッド RE Biz Team の小杉啓太 TeamLead が登壇し表彰状を受け取りました。

当社は今後も、お客様の脱炭素目標の早期達成と 2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて邁進し、持続可能でエネルギー制約に縛られない社会を目指してまいります。

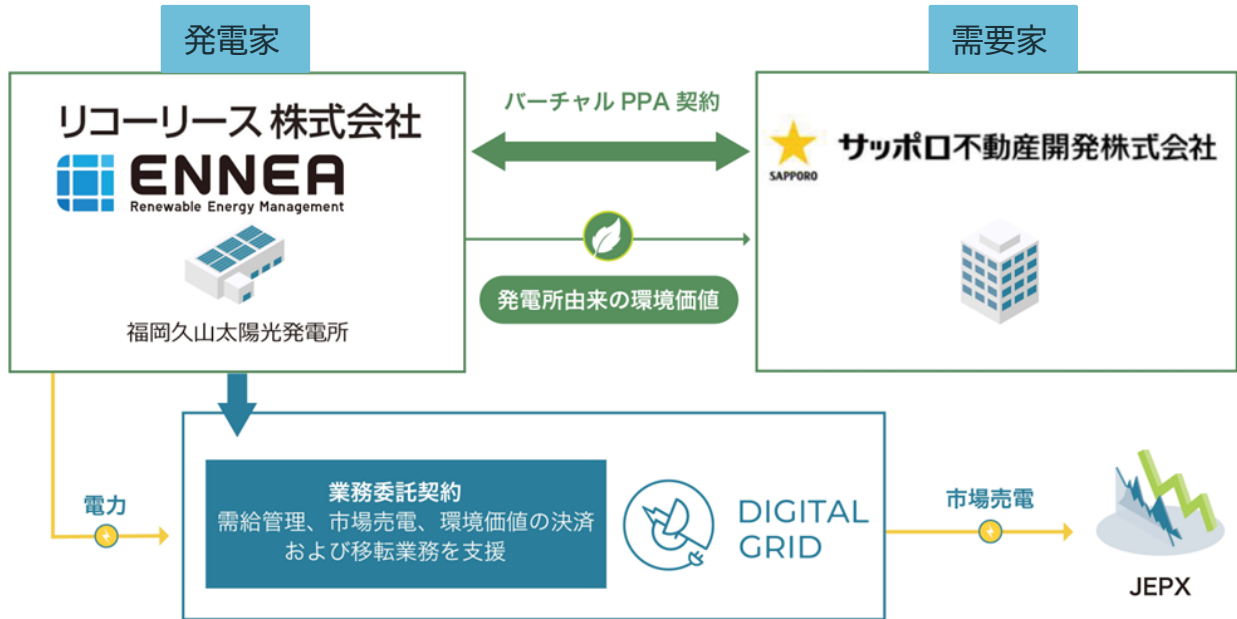
プロジェクトの概要

（参考 <https://www.digitalgrid.com/pdf/article250707.pdf>）



当社サービスを通して、リコーリースがエネア・リニューアブルエネルギー・マネジメントと開発した屋根上設置型太陽光発電設備の「追加性のある環境価値」を、サッポロ不動産開発が 2025 年 7 月から 20 年間に渡り固定価格で調達しています。

← 物流施設の屋根を利用した福岡久山太陽光発電所



Point

リコーリースが市場価格の変動性を担うことで、サッポロ不動産開発が調達する環境価値の価格を固定化。20年間、追加性のある再エネを調達可能にしました。

用語解説

環境価値	再生可能エネルギーは CO ₂ を排出しない発電方法であり、その「環境に良い」という価値が環境価値です。この価値は、証書などを通じて取引され、企業の脱炭素経営に活用されます。
バーチャル PPA	発電家と需要家の電力購入契約で、電力と環境価値を切り離して考え環境価値のみを需要家に届ける方法です。
追加性のある	再エネ導入や利用がなかった場合と比べて温室効果ガスの排出削減や再エネの発電量がどれだけ「追加的に」増えたかを評価すること。当社では 2022 年 4 月以降に運転開始した「新設の再エネ発電設備から創出される環境価値」を、追加性のある再エネと定義しています。

会社概要 ▶ 25 年 4 月 東証グロース市場上場 ▶ 令和 6 年度 新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」

会社名：デジタルグリッド株式会社 (<http://www.digitalgrid.com/>)

代表者：代表取締役社長 CEO 豊田祐介 【東証グロース市場 (350A)】

設立：2017 年 10 月 資本金：1,139 百万円 従業員数：89 名 (11 月 1 日現在)

所在地：東京都港区赤坂 1-7-1 赤坂榎坂ビル 3 階

事業内容：電力及び環境価値取引プラットフォーム「DGP」運営、分散型電源アグリゲーションサービスの提供

問い合わせ先

デジタルグリッド株式会社 広報室 石原・安藤 pr@digitalgrid.com

TEL 080-4350-2981 / 03-6256-0008